
2024年度 裁判所事務官(一般職)
小論文
講評&解答例



問題

我が国では、職場における人手不足の深刻化が懸念されているが、その原因や背景を述べたうえで、組織のパフォーマンスを維持、向上させていくために取り得る方策を具体的に論じなさい。

論点

- 1 我が国で職場における人手不足の深刻化が懸念されている原因・背景
- 2 1が職場組織にもたらす影響
- 3 2を踏まえた、職場組織のパフォーマンスを維持、向上させるための方策

解答例

我が国では、少子高齢化の加速に伴う生産年齢人口の減少を背景に、労働力が減少している。2025年には団塊世代の一斉退職を迎えるとともに、生産年齢人口は一層減少することが予測されていることから、今後、人手不足はますます悪化すると予測される。同時に、多くの企業で終身雇用が廃止され、雇用の流動化が進んでいるのを背景に、転職に対する肯定的な考えが強まっている。とりわけ若年層を中心に、現在の職場で働き続ける意向を抱きつつも転職や起業等を視野に入れ、実際にそれらに踏み切る者も少なくはない。以上のような背景や要因により、我が国で職場における人手不足がますます深刻化すると予測され、懸念されている。

では、そのことが職場組織にもたらす影響は何か。

それは、労働者一人あたりの業務が多忙化することである。このことは以下の問題をもたらす。第1に、長時間労働が生じやすくなることである。そのこととも関わって第2に、労働者の働く意欲が減退し、労働生産性の低下を招くことである。これらは、職場組織におけるパフォーマンスを低下させる点で問題となる。

では、上記の問題を踏まえ、職場組織のパフォーマンスを維持、向上させるために取り得る方策は何か。以下、3点論じる。

第1に、DXを積極的に取り入れることで業務効率化を図ることである。具体的には、議事録の作成や顧客からの問合せの回答等、従来は人間が行っていた業務についてAI等の先端技術を活用して自動処理を行えるようにする。これにより、労働時間を大幅に削減できるとともに、労働者が付加価値の高い業務に集中することが可能となり、労働生産性が向上する。

第2に、DXの導入によって長時間労働の是正を図りつつ、仕事と育児、介護との両立をしやすい環境を整備することである。具体的には、テレワークやフレックスタイム、短時間勤務等、多様で柔軟な働き方を認め、それが十分に運用されるように組織として支援する。これら取組を通じて

ワーク・ライフ・バランスを実現し、労働者が活躍しやすい環境を整備することは、人手不足の職場においてさらなる人材確保に結びつきうる点でも重要である。

第3に、仕事に誇りややりがいを感じて熱心に取り組める状態を作ることである。具体的には、職場でのキャリア展望を明確にしたうえで業務遂行における裁量権を高めたり、職場内の人間関係やコミュニケーションの円滑化を組織として図る。これにより、労働者は成長実感や自己充足感が高まり、より意欲を持って仕事に参画しやすくなることが期待できる。

これら3点の実現は、人的資本が効率的、効果的に活用されている状態だといえ、職場組織のパフォーマンスの維持、向上に資するものだと考えられる。

我が国において将来的に就業者数の大幅な減少が見込まれる中、以上のような方策を講じることで職場組織の機能をさらに高めることが重要である。

(約 1180 字)

以上

講 評

難易度：A [易]

昨年同様、「現代社会における組織運営」と関わる分野の出題であった。本問の構想において、裁判所事務官（一般職）・小論文の過去問に取り組んでいた受験者であれば、平成27年度：「いきいきとやりがいを持って働くことができる良好な職場環境を整える上で重要と考える要素」、令和元年度：「今の社会であなたが考える良い職場とは」、令和5年度：「チームワークの重要性」等の論述内容を活かしうる課題であり、極めて取り組みやすい課題だったのではないかと捉えられる。

課題文前半部からの文脈により、本問における「組織」は職場組織と捉えることが可能である。そのパフォーマンスの維持、向上の論述については「人手不足の深刻化が懸念されている」ことを踏まえた内容であることが求められるのに注意が必要である。その点を満たした上で、本問で取り上げられる内容は多岐に渡る。【解答例】の内容の他、職場内コミュニケーションの円滑化、チームワークの向上等を中心論点として取り上げて論述することももちろん可能である。論点の構想が行いやすい課題である分、上記の出題条件に応えた上で、最終的な評価の分かれ目は、論理性、具体性の高い論述がどれだけ行っているかという点になると考えられる。

れっく **LEC** 東京リーガルマインド

著作権者 株式会社東京リーガルマインド

(C) 2024 TOKYO LEGAL MIND K. K. , Printed in Japan

無断複製・無断転載等を禁じます。

KL23773